

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※ 受理番号	学校	教科	種目	学年
104 - 203	小学校	道徳	道徳	1
※ 発行者の番号・略称	※ 教科書の記号・番号	※ 教科書名		
2 東書	道徳112	新編 あたらしい どうとく 1		

① 編修の基本方針

「心の力持ち」になろう！

急激に^{ひら}変化する世界の中で、児童には、自らの手で未来を切り拓く力が求められています。その基盤となるのは、自分を見つめ、他人を思い、社会と関わり、生命や自然を尊ぶことができる「心の力」です。その力は、これまで道徳教育が大切に育ててきたものであり、教育基本法の第2条に記された、教育の目標とも重なります。

わたしたちは、教育基本法の教育の目標に示された「心の力」を育むため、次の3つの方針に沿って教科書を編修しました。

1年の表紙と巻頭詩では、「心の力」として「ともだちを おもう、ちから。」を描写しています。



方針

1

豊かな
道徳性を育む、
地に足のついた、
確かな教材

2

現代的な課題に
目を向けた、
教材や
ユニット編成

3

学びを広げる、
多彩な
QRコンテンツ

豊かな道徳性を育む、地に足のついた、確かな教材

挿絵と文章で、道徳的価値に迫る確かな教材

道徳科の教科書で大切なのは、子どもの心に響く教材です。今を生きる子どもたちが道徳的価値について深く考えることができるよう、慎重に文章を選び、共感を呼ぶ質の高い挿絵をつけ、丁寧に教材をつくっています。



継続して掲載し、長年親しまれてきた教材の挿絵を、時代に即して、適宜新しくしています。

1 時間の学習で考えることがひと目でわかり、柔軟に活用できる、シンプルな教材構成

発問例

指導法に合わせた柔軟な授業展開ができるように、教材末に掲載する発問を二つに絞って構成しています。

- ① その教材の中で、道徳的価値にもっとも迫ることができる中心的な問い。
- ② これまでの自分を振り返り、自分の心を見つめ、これからの生き方に生かしていくための問い。

指導書では、基本発問や補助発問など、豊富に発問を掲載するとともに、別案の展開例を示し、柔軟な活用をサポートします。

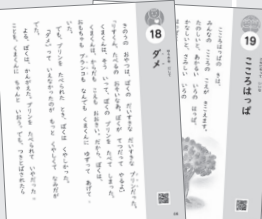
次の教材を開くのが楽しみになる、ばらばら漫画を掲載しています。



現代的な課題に目を向けた、教材やユニット編成

教育活動全体で課題に向き合う、5つのユニット

道徳科の学習で扱う「教材」を要として、他教科等の学習活動や地域や家庭での活動を意識したコラム「つながる・ひろがる」を有機的に組み合わせ、現代的な課題に取り組む「ユニット」を編成しました。

	扉	教材	つながる・ひろがる
安心・安全 (p.20-23) 交通安全、防犯、自然災害など、多様な観点から安心・安全について考えます。 ※1年生の交通事故の多い6月に配当。			
情報モラル (p.24-27) GIGAスクール構想の実現でいっそう重視される、情報活用能力を育みます。 ※1年生が初めて情報機器に触れることの多い6月に配当。	いじめ防止に直接関わる 3つのユニットには、扉を設けています。		
いじめ（いじめの防止） (p.65-73) いじめを直接的に扱う教材と、いじめ防止につながる価値から間接的に考える教材で、いじめの防止について多角的に考えを深めます。 ※学校に慣れ、人間関係のトラブルが出てくる10月に配当。			
いのち（生命尊重） (p.41-45) 生命の尊さについて、多面的・多角的に考えを深めます。 ※子どもの自殺件数が増える9月に配当。			
じぶん（自己肯定感） (p.99-105) 個人やグループでの活動を通して、自分のよさや可能性を見つめます。 ※年が改まり、自分を見つめる機会が増える1月に配当。			

学びを広げる、多彩なQRコンテンツ

すべての教材に、QRコンテンツを用意

GIGAスクール構想の実現による、新たなICT環境を活用できるよう、すべての教材にQRコンテンツを用意しました。



教材冒頭のコードから、スムーズにアクセスすることができます。



個別最適な学びを
支援する

ろうどく

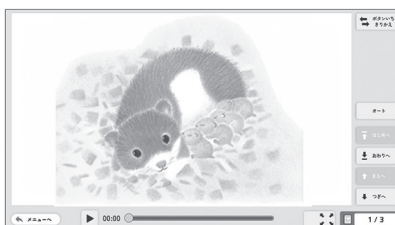


教材の文章を、プロの声優の音声で聞くことができます。

QRコンテンツを活用して、障害のある子どもや日本語指導の必要な子どもなど、子どもの特性に合わせた教材の提示方法が選択できます。

また、事前読みや、家庭での話し合いなど、QRコンテンツを活用することで道徳の学びが、さらに広がっていきます。

かみしばい



紙芝居のように、場面絵を見ることができます。絵に合わせて朗読音声の流れます。

協働的な学びを
広げる

デジタルノート



QRコンテンツからワークシートをダウンロードできます。プリントアウトすることはもちろん、さまざまな学習支援ツールに読み込むことで、協働的な学びが広がります。

自分の考えを可視化する ころのメーター



巻末に設けた「かんがえるためのツール」のコードから、心のメーターが利用できます。はっきり自覚できない自分の考えをメーターで可視化することにより、友達の考えと比較し、自分の心を深く見つめることができます。



② 教育基本法との対照表

図書の構成・内容	該当箇所	特に意を用いた点や特色
どんな まなびを するのかな？	p.6-7	豊かな情操と道徳心を培い、健やかな身体を養う心を育むことができるよう、道徳科の学び方を文字や図を使い、わかりやすく示しました。(第1号)
16 ぼくの しごと	p.56-58	働くことのよさを知り、みんなのために働くことの楽しさを実感することで、勤労を重んじる態度とともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう、「勤労、公共の精神」を扱った教材を取り上げました。(第2号・第3号)
8 ハムスターの あかちゃん 12 どきどき どつきんぐ 30 おたんじょうびカード 11 ぼくの あさがお 33 もう すぐ はるです	p.28-30 p.42-44 p.116-119 p.38-39 p.129-131	生きることのすばらしさを知り、生命を大切にするとともに、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することで、自然を大切にできる態度を養うことができるよう、「生命の尊さ」と「自然愛護」を扱った教材を取り上げました。(第4号)
22 みつけて みよう 20 ほかの くから きた たべもの	p.82-85 p.76-77	我が国や郷土の文化に親しみ、愛着をもつとともに、他国の人々や文化に親しむことができるように、「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」と「国際理解、国際親善」を扱った教材を取り上げました。(第5号)

③ 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① すべての子どもに学ぶ喜びを (誰一人取り残さない教科書)

【1 特別支援教育】特別支援教育の観点から、デザインや内容の検討・校閲をしています。

【2 ユニバーサルデザイン】読みやすさと字形の正しさを両立させた、ユニバーサルデザインフォントの教科書体を使用しています。カラーユニバーサルデザインの観点から、配色とデザインの検証を行っています。また、全学年で拡大教科書の発行を予定しています。

【3 外国人児童など日本語指導の必要な児童への配慮】教材に付した二次元コードから、朗読音声や紙芝居など、文章の読解をサポートするQRコンテンツにアクセスすることができます。

【4 デジタル教科書の発行】特別支援教育に役立つ機能が充実した、デジタル教科書の発行を予定しています。

② 人権上の配慮

【1 ジェンダーへの配慮】教材や挿絵に登場する、子どもや地域の人、家の人などの人数や役割などは、性別による偏りがないように配慮しています。低学年で、セクシャルマイノリティーの子どもを主人公とした絵本を紹介するなど、子どもたちがLGBTなどの性の多様性を受け入れる態度を養えるようにしています。

【2 多様な人々の描写】外国人児童や、障害のある児童などを、現代の社会状況を反映して挿絵の中に描き、多様な人との触れ合いに関心をもてるようにしています。

③ 感染症予防への取り組み

●教科書冒頭に、感染症の予防について注意喚起を行う「うつらない うつさない ために」を設けています。併せて、基本的な感染症予防についてまとめたサイトも用意しました。教科書冒頭の二次元コードからアクセスすることができます。

④ コンピュータの効果的な活用への取り組み

●GIGAスクール構想への取り組みとして、コンピュータの効果的な使い方を身につけることができるサイトを用意しました。必要に応じて教科書冒頭の二次元コードからアクセスすることができ、情報活用能力を育むことができます。

●情報教育の研究者や実践者に専門的見地からの助言や校閲を受け、コンピュータを活用して道徳科の学びを効果的に高めることができるように配慮しています。

⑤ 評価への対応

●子どもたちが、心に残った教材を振り返ることで、自分の成長を見つめることができる、「がくしゅうの きろく」を巻末に設けています。先生がたにとっても、子どもの成長を把握し、指導に生かす際の手がかりとして活用することができます。

⑥ 教授用資料の充実

●先生がたが子どもたちと向き合う時間を増やすための働き方改革が実現できるよう、充実した教師用指導書の発行を予定しています。先生がた向けのデジタルブックを同梱し、朗読音声やワークシートなどの資料が円滑に活用できるようにします。

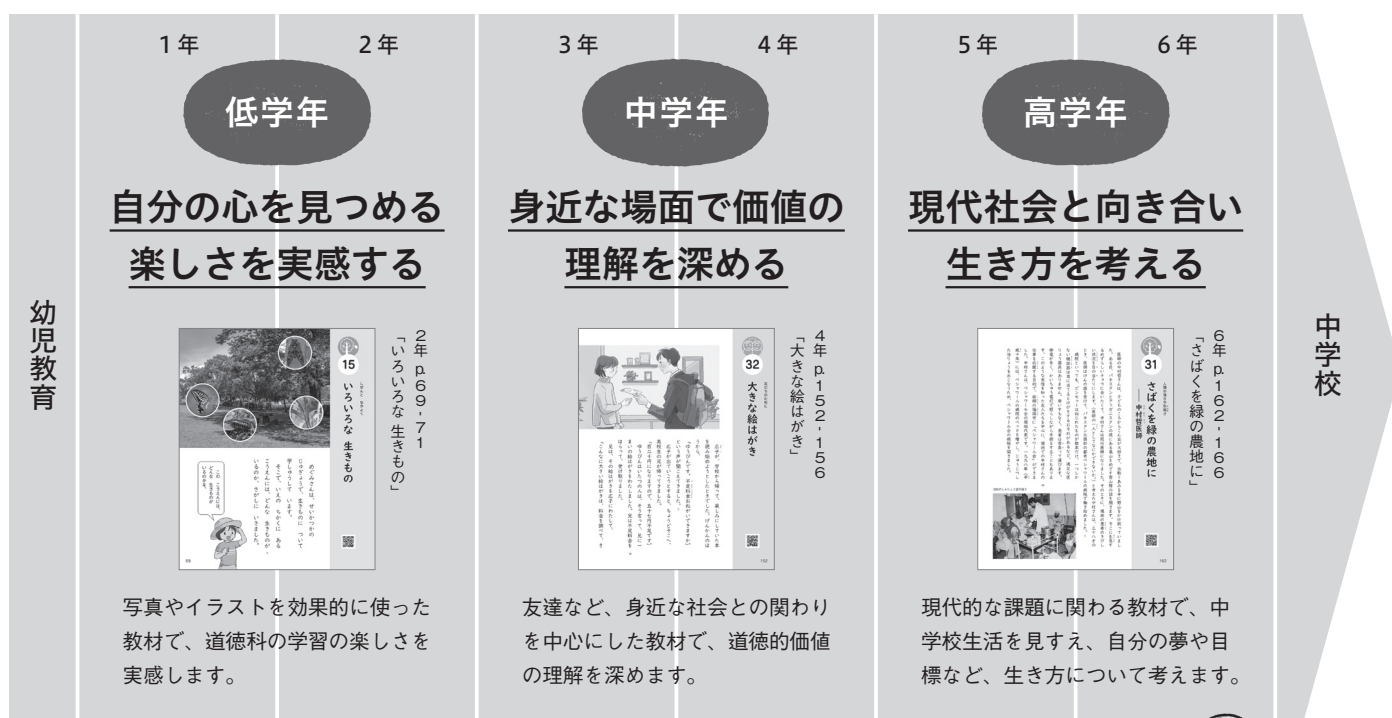
編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※ 受理番号	学校	教科	種目	学年
104 - 203	小学校	道徳	道徳	1
※ 発行者の番号・略称	※ 教科書の記号・番号	※ 教科書名		
2 東書	道徳112	新編 あたらしい とうとく 1		

編修上特に意を用いた点や特色

6年間を通して道徳性を高める、発達の段階を踏まえた学年構成



学習指導要領解説に示された学年段階の指導の要点等を踏まえ、6学年の教科書を構成しています。自己を見つめることを楽しむ低学年、共感的に道徳的価値の理解を深める中学年、集団や社会の課題と向き合い自分の生き方について考える高学年と、幼児教育から中等教育まで、子どもの学びを円滑につなぎます。



1年p.142-143「教材一覧表」

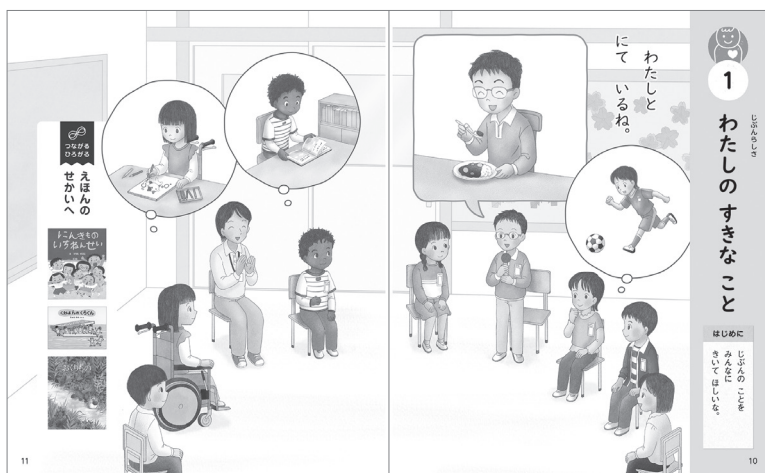
関係するテーマ	他教科等との関係
いじめ防止	
いじめ防止、主権者教育	特別活動
防災・安全	
スタートカリキュラム	生活、特別活動
スタートカリキュラム、防災・安全、消費者教育	生活、特別活動
スタートカリキュラム、自己肯定感	国語、生活、特別活動
いじめ防止、自己肯定感	特別活動
心身の健康、自己肯定感	体育
自己肯定感	
いじめ防止	
スタートカリキュラム	国語、生活
命の尊重	

1年間のカリキュラム・マネジメントを支える、教材一覧表

道徳科の年間指導計画作成には、現代的課題とのつながりや他教科等との関連が大切です。巻末の教材一覧表では、関係するテーマと他教科等との関連を掲載し、学校ごとの年間指導計画づくりをサポートします。

幼児期の教育とつながる「どうとくスタート」

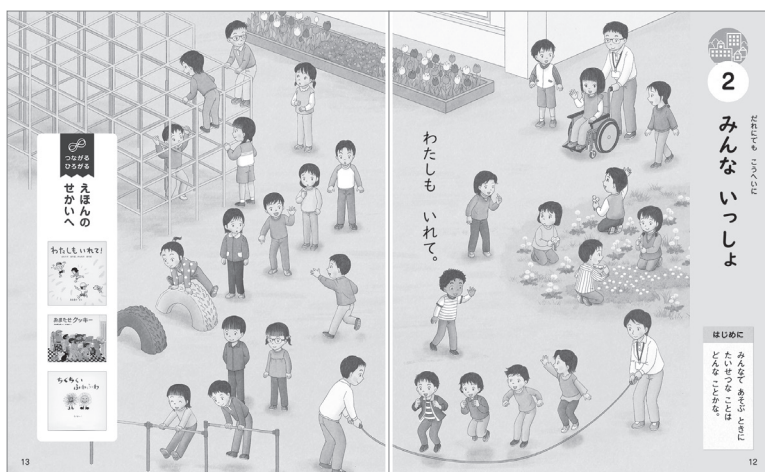
具体的な活動や、他教科等との関連を図った学習を通して、子どもが道徳科の学習の楽しさに出会う「どうとくスタート」を新設しました。絵や写真を中心とした教材で、幼児期の教育を通して育まれた道徳性を踏まえ、子どもが主体的に自己を発揮しながら、道徳科の学習を始めることができます。



p.10-11 「わたしの すきな こと」

自分の考えを すなおに話せる、 あたたかい教室を つくります

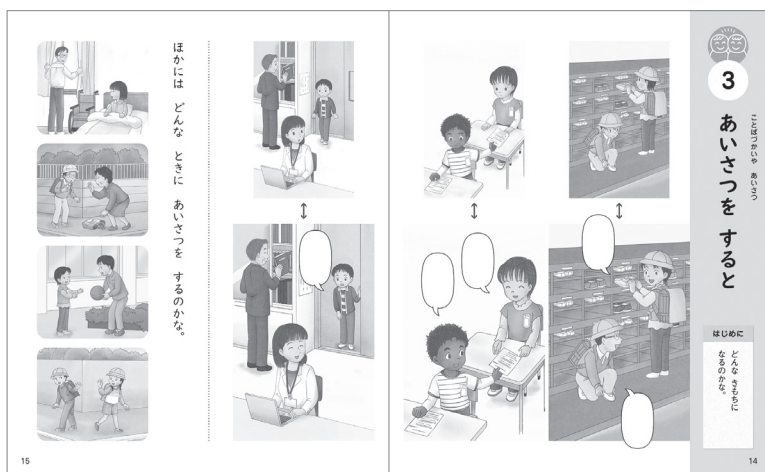
- 自分の特徴を話し、互いに認め合う学習を通して、幼児教育で育ててきた道徳性を、主体的に発揮できる環境をつくります。
- 幼児教育で使われることのある「サークル対話」の形式で、緊張せずに自分の特徴を話すことができるよう、配慮しています。



p.12-13 「みんな いっしょ」

いっしょに 遊ぶことから 人間関係が始まります

- 1年生の子どもたちにとって、遊びは最大のコミュニケーションです。さまざまな幼稚園や保育所、こども園などから集まった子どもたちが、校庭での遊びを通して、好き嫌いとらわれず遊ぶことのよさを実感し、新しい人間関係を築いていきます。



p.14-15 「あいさつを すると」

友達への 親しみの心があるから 気持ちのよい 挨拶が生まれます

- 礼儀とは、相手を敬愛する気持ちを具体的に表すことです。友達を思う気持ちがあるから、自然と礼儀正しい行為が生じます。
- 友達と明るく接する中で、状況に応じた挨拶や言葉遣い、作法などがあることにも気づいていきます。

学ぶ意欲を高める、さまざまな工夫



教材末の二次元コードからは、動画コンテンツを視聴することで、学びをさらに広げることができます。

1年生の発達の段階を意識し、 ダイナミックな 写真を生かした教材

●大判の紙面を生かした美しい春の風景を掲載し、身近な自然によせる優しい心を想起することができるようになっています。

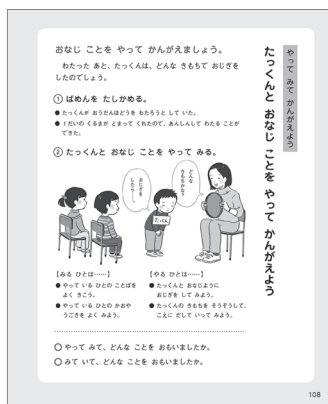


p.129-131 「もうすぐはるです」

多様な指導法を例示



p.90 「もんだいをみつめてかんがえよう」



p.108 「やってみてかんがえよう」



p.64 「えんじてかんがえよう」

問題解決的な学習

●身近な生活の中から課題を見つけ、ねらいとする道徳的価値を追求していく展開の教材を設けています。

体験的な学習(動作化)

●実際に道徳的行為をしてみて、時と場に応じた挨拶や言葉遣いについて考える「動作化」を取り入れた教材を設けています。

体験的な学習(役割演技)

●教材の登場人物の言動を即興的に演技して考える「役割演技」を取り入れた教材を設けています。

観点別特色一覧



観点	教科書の特色
教育基本法	■ 教育基本法に示された教育の目標を達成するために、特に次の3点を育むことを重視して編修しました。①よりよく生きようとする心 ②確かな道徳性 ③主体的に学習に取り組む態度 (全体)
学習指導要領	■ 小学校学習指導要領「特別の教科 道徳」に示された各学年段階の内容項目について、相当する各学年においてすべて取り上げています。(全体) ■ 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる配慮をしています。(全体)
「考え、議論する道徳」	■ 巻頭の「どんな まなびを するのかな？」では、言語活動を含めた授業の流れを、短い文章と挿絵を使って提示し、子どもたちが主体的に「考え、議論する道徳」を実現できるようにしています。(p.6-7) ■ 巻末の「かんがえる ための ツール」では、子どもたちが自分の心の中を見つめるためのツールを例示しています。思考の共有化・見える化をすることで、友達と比較したり、理由を聞いたりして、議論を深めることができるようにしています。(p.144)
「個別最適な学び」	■ 文章の読み取りが苦手な子どもや、日本語指導が必要な子どもなど、多様な子どもたちが、誰一人取り残されることなく、「個別最適な学び」が実現できるよう、朗読音声や紙芝居など、多様な教材の提示方法を用意しています。(全体)
「協働的な学び」	■ 巻頭の「どんな まなびを するのかな？」では、友達と協働的に学びを深めていく過程を示し、子どもが主体的・協働的な学びを実現できるようにしています。(p.6-7) ■ 「もんだいを みつけて かんがえよう」では、子どもが協働的に学ぶ過程を、挿絵を使ってわかりやすく示しています。(p.90)
用紙・印刷・造本	■ 環境への配慮から、再生紙・植物油インキを用いています。(全体) ■ 本文用紙の軽量化を図り、強力な接着剤を用いた製本で、紙面をしっかりと開くことができるようにしています。(全体)
選択・程度・分量	■ 学年の配当時数に基づき、道徳科の授業を行ううえで、適切な教材数を用意しています。(全体) ■ 学年ごとの発達の段階を踏まえ、掲載する教材の文字量を調整し、内容が少しずつ高度になるようにしています。(全体) ■ 学年ごとの発達の段階に合わせて、偉人や著名人を扱った教材を豊富に掲載しています。(全体)
組織・配列	■ 学習指導要領「総則」の道徳教育に関する配慮事項で示されている記述を手掛かりに、これまでの道徳教育の状況調査を踏まえ、全学年を通しての重点内容項目と、学年の段階を考慮した重点内容項目を設定しています。重点内容項目には、2～3教材を配列しています。(全体) ■ 現代的な課題について扱う5つのユニットを、指導に最適な時期を考えて、すべての学年で同じ時期に配列しています(ただし、1年生は除く)。(全体) ■ 1年生から6年生まで、学年ごとの発達の段階に合わせて、教材を選び、配列しています。(全体)
表記・表現	■ 本文書体は、読みやすさと字形の正しさを両立させた、ユニバーサルデザインフォントの教科書体を使用しています。(全体) ■ 漢字は、当該学年の前の学年までの配当漢字を使用し、漢字の学習状況に関わらず読み進めることができるようにしています。また、ひらがなで表記することで誤解を招きそうな熟語では、あえて漢字を使って表記するとともに、ふりがなを付して、子どもたちの教材理解が円滑に進むように配慮しています。(全体) ■ 継続して掲載している教材も含め、すべての文章や挿絵を、今の子どもたちに合ったものになるよう、見直したり修正したりしています。(全体)
現代的な課題への対応	■ 喫緊の問題である「いじめの防止」を、全学年で「ユニット」として重点的に取り上げています。2つの教材を組み合わせ、いじめの防止の効果を高められるようにしています。(p.65-73) ■ 「安心・安全」「情報モラル」「生命尊重」「自己肯定感」などの課題についても全学年に「ユニット」を設け、重点的に取り上げています。('安心・安全' p.20-23、'情報モラル' p.24-27、'生命尊重' p.41-45、'自己肯定感' p.99-105) ■ 小学校学習指導要領解説「総則編」の付録に示されている「現代的な諸課題」を中心に、教材や「つながる・ひろがる」の中で現代的課題を積極的に取り上げています。('消費者教育' p.20-21、'食育' p.50-53、'キャリア教育' p.56-58、'郷土教育' p.82-86、'主権者教育' p.110-112、など) ■ 巻末の「教材一覧表」で、「関係するテーマ」として、現代的な課題への対応を表しています。(p.142-143)
SDGs	■ 現代的な諸課題と関わりのある教材では、持続可能な社会をつくるために、他教科等や日常生活で自分のできることを考えるための「つながる・ひろがる」を設けています。(p.40「いきものはともだち」、p.74-75「ともだちってなんだろう?」、p.86「わたしのまちやくにのよいところ」、など)
他教科等との関連	■ 各教科等での道徳教育との関連を図った教材を取り上げています。(生活p.18-19、p.38-39、p.82-85、p.129-131、音楽p.134-137、体育p.31-33、など) ■ 他教科等における道徳教育との関連を示した「つながる・ひろがる」を設けています。関連する教科にマークを付して表しています。(国語p.74-75、生活p.22-23、p.40、p.86、p.132-133、音楽p.44-45、など) ■ 巻末の「教材一覧表」で、「他教科等との関連」として、他教科等との関連を表しています。(p.142-143)
幼児教育との接続	■ 1年生では、幼児期の教育で育まれた道徳性を生かし、円滑な保幼小連携が図れるよう、「どうとくスタート」を設けています。自分のことを話す学習から、友達との遊び、挨拶と、少しずつ関わりを深められるように構成されており、楽しく道徳科の学習をスタートすることができます。(1年p.9-23)
中等教育への接続	■ 6年生では、先人の生き方に触れることで、中学生になるにあたって、自己の生き方についての考えを深められるようするなど、小中連携に配慮しています。(6年p.151-187)

学習指導要領との対照表、配当授業時数表

時期		教材名・タイトル	ページ	配当時数	学習指導要領の内容項目	関係するテーマ
一学期 11時間	前期 15時間	1 わたしの すきな こと	10-11	1	個性の伸長	スタートカリキュラム、自己肯定感
		2 みんな いっしょ	12-13	1	公正、公平、社会正義	スタートカリキュラム、いじめ防止
		3 あいさつを すると	14-15	1	礼儀	スタートカリキュラム
		4 きもちが よいのは？	16-17	1	節度、節制	スタートカリキュラム
		5 がっこうにはね……	18-19	1	感謝	スタートカリキュラム
		6 きをつけて	20-21	1	節度、節制	スタートカリキュラム、防災・安全、消費者教育
		そとでの やくそく「いかのおすし」	22-23	—		
		7 がっこうの ものは？	24-25	1	規則の尊重	情報モラル、主権者教育
		つかう ときの ルールをつくろう	26-27	—		
		8 ハムスターの あかちゃん	28-30	1	生命の尊さ	生命の尊重
		9 うかんだ うかんだ	31-33	1	希望と勇気、努力と強い意志	心身の健康、自己肯定感
		10 はしの うえのおおかみ	34-37	1	親切、思いやり	いじめ防止
		11 ぼくの あさがお	38-39	1	自然愛護	環境教育
		いきものは ともだち	40	—		
		二学期 14時間		12 どきどき どっきんぐ	42-44	1
ぼくらは みんな 生きている	44-45			—		
13 あめが あがって……	46-49			1	感動、畏敬の念	環境教育
14 みんな だれかに	50-53			1	感謝	食育、生命の尊重
15 よりみち	54-55			1	規則の尊重	防災・安全
後期 19時間	16 ぼくの しごと		56-58	1	勤労、公共の精神	キャリア教育
	17 こぐまの らっぱ		59-64	1	希望と勇気、努力と強い意志	自己肯定感
	18 ダメ		66-69	1	善悪の判断、自律、自由と責任	いじめ防止
	19 こころはっぱ		70-73	1	友情、信頼	いじめ防止
	ともだちって なんだろう？		74-75	—		
	20 ほかの くから きた たべもの		76-77	1	国際理解、国際親善	国際理解、食育
	21 かぼちゃの つる		78-81	1	節度、節制	
	22 みつけて みよう		82-85	1	伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度	郷土・地域
	わたしの まちや くにの よい ところ		86	—		
	23 どんぐり		87-90	1	正直、誠実	防災・安全
三学期 9時間		24 はなばあちゃんが わらった	91-94	1	親切、思いやり	
		やさしい ことば、あたたかい ことば	95	—		
	25 どうぶつの かぞく	96-98	1	家族愛、家庭生活の充実	環境教育	
		26 ええところ	100-103	1	個性の伸長	いじめ防止、自己肯定感
		ともだちの「ええところ」	104-105	—		
		27 おうだんぼどうで	106-108	1	礼儀	防災・安全
		きもちの よい あいさつ	109	—		
		28 みんなの ボール	110-112	1	規則の尊重	主権者教育
		29 ニわの ことり	113-115	1	友情、信頼	
		30 おたんじょうびカード	116-119	1	生命の尊さ	生命の尊重
		31 それって、おかしいよ	120-123	1	善悪の判断、自律、自由と責任	いじめ防止、主権者教育
		32 ぼくのは な さいたけど	124-128	1	親切、思いやり	
		33 もう すぐ はるです	129-131	1	自然愛護	環境教育
		きせつによって かわる しぜん	132-133	—		
		34 もう すぐ 二ねんせい	134-137	1	よりよい学校生活、 集団生活の充実	
一ねん〇くみの いいとこさがし		138-139	—			